

2023 年 4 月 12 日

新宿区長 宛て

団体名 特定非営利活動法人  
あそびと文化のNPO新宿子ども劇場  
所在地 新宿区四谷2-10 松本館801  
(フリガナ) フジオカ サエ  
代表者氏名 **藤岡 紗絵** 印

新宿区協働推進基金助成金交付申請書

新宿区協働推進基金条例施行規則第5条の規定により、下記のとおり助成金の交付を申請します。

記

助成金申請額 金 500,000 円

| 申請事業の分野 (該当の分野1つだけに○をしてください。なお、活動分野が複数の場合は、主要な分野に○をしてください。) |   |               |
|---|---|---------------|
| 保健・医療・福祉  | 災害救援                                      | 情報化社会         |
| 社会教育  | 地域安全                                      | 科学技術          |
| まちづくり   | 人権擁護・平和                                   | 経済活動          |
| 観光  | 国際協力                                      | 職業能力開発・雇用機会拡充 |
| 文化・芸術・スポーツ  | 男女共同参画                                    | 消費者の保護        |
| 環境  | <input checked="" type="radio"/> 子どもの健全育成 | 市民活動支援        |
| その他 ( )   |   |               |

事業計画書

|                  |   |
|------------------|---|
| <p>団体名</p>       | <p>特定非営利活動法人あそびと文化のNPO 新宿子ども劇場</p>  |
| <p>事業名</p>       | <p>子どもの文化体験格差解消プロジェクト</p>   |
| <p>① 事業目的・概要</p> | <p><b>ア 事業目的</b></p> <p>3年以上続いたアフターコロナの子どもたちの現状を知り、子どものいる場所へ文化体験の機会を届ける</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校現場にプロのアーティストを派遣して、多様な表現の文化体験をしてもらうことで子ども自身が、他者理解、自己理解自己発見を行う機会とする。多彩な大人との出会いの機会とする。</li> <li>学校現場へ届けることで、文化体験と一緒に体験する教員にも日常と違う子どもの一面を知ってもらう。(アーティスト派遣事業)</li> <li>・学童クラブ等へ多世代で多様な遊び方を体験してもらい、子どもたちに文化体験の機会を届ける。また、そこに携わる大人に遊びの広がりや遊びを通して子供の違った面を知ってもらう。</li> <li>(学童クラブ等へあそびの出前事業)</li> <li>・区内で日常的に困難を抱える子どもや家庭の支援に取り組む団体とともに、コロナ後の子どもたちや保護者の実情を共有し学習することで、体験格差の現状を明らかにする。(講演会)</li> <li>・新宿区内の体験格差の現状を明らかにするまとめ資料を作成し、子どもたちの現状を広く地域の人と共有し地域で子育て支援をしていく機運を高める。</li> <li>(文化体験里親寄付制度への準備事業)</li> </ul> <p><b>イ 事業概要</b></p> <p>① アーティスト派遣事業</p> <p>区内小・中学校へプロのアーティストを派遣する。子ども文化地域コーディネーターが学校とアーティストの間に入り、学校のニーズを聞き取り、児童生徒の様子を聞き取ったうえで、環境設定を行い、プロのアーティストを派遣する。実施ジャンル：音楽・演劇・ダンス・バレエ・身体表現・雅楽・狂言・和太鼓・落語・清元など</p> <p>② あそびの出前事業</p> <p>放課後ひろばや学童クラブ等放課後の児童の集まる場所へ遊びのファシリテーターを派遣して、遊び文化体験の機会を増やす。また、携わる大人にも参加してもらい、日常の中であそびが広がるようにする。</p> <p>③講演会</p> <p>民生委員、子ども食堂、無料塾、障がい者支援、企業による子育て支援などで関わる人たちと現状認識と体験格差の現状を学ぶ。</p> <p>学識有識者を呼んでコロナ禍の子どもを学ぶ</p> <p>④ 文化体験里親寄付制度への準備事業</p> <p>新宿区内の体験格差の現状を明らかにするまとめ資料を作成し、現在の子ど</p> |

|                     |   |
|---------------------|---|
|                     | <p>もたちの取り巻く課題について広く多くの区民に知らせ、子どもの文化体験里親制度（仮称）を立ち上げる準備する。</p> <p>また、ホームページでの寄付の呼びかけやクレジット決済、報告の掲載などできるように準備を進める。</p>   |
| <p>② 地域課題・社会的課題</p> | <p>3年に及ぶコロナ禍の規制も緩和され、社会は活動を復活させてきている。しかし、この間、子どもたちにもたらした影響は大きい。学術的な検証はこれから明らかにされてくることを待つが、子どもを取り巻く環境が大きく変わったことは否めない。</p> <p>公益社団法人チャンス・フォー・チルドレンの2022年12月15日発行の「子どもの体験格差実態調査」中間報告によると低所得家庭の子の3人に1人が学校外の体験が「何もない」との結果があり、世帯収入の多寡で3倍の差が生じている。この「体験の貧困」を生む要因（経済事情以外）に保護者の時間的余裕不足、保護者の認識欠如、また「学習」と「体験」の優先順位では体験機会の減少が学習機会と比較して大きく、先に削られる可能性が示唆された。今後、物価高騰がさらに多くの子どもたちの影響を与える可能性がある。さらに低所得家庭の保護者ほど自身の学童期の体験が少なく、体験により非認知能力の向上し、それが学歴や収入、社会的地位などに結びついている可能性が示唆された。全国的調査結果から、学童期までの子供には多様な人との関りと、体験の機会がその後の人生の豊かさに影響されることとともに、その世代にとって、保護者の選択の中でしかその機会を得ることが難しいことも認識できる。</p> <p>文部科学省による21世紀出生児縦断調査特別報告において子供の「孤独・孤立」に関する社会関係資本・学校適応に関する分析について、多様な相手と遊ぶことや、放課後等の子どもたちが異年齢を含む多様な相手と交流する事が重要である可能性が示唆され。学童期の体験活動とその後の非認知能力等に関する分析では学童期までに「自然体験」や「文化的体験」を経験することで「自尊感情」「精神的回復力」「我慢強さ」「精神的健康」のいずれに関してもプラスの効果が見られたとの分析が出されている。</p> <p>さて、新宿区では、平成28年度ひとり親世帯へのアンケート（回答数958件/1902件）を実施している。その世帯の収入は300万円以下が72.7%となり、将来の不安も経済的なことが大きい。また、区内では共稼ぎ世代の増加に伴い、学童クラブへのニーズが高まり、令和4年度は定員1825名のところ2160名の登録があり、広場プラスも令和3年から4年の一年間で330名の登録者数が増えている。全国では小学3年生の4人に一人が学童を利用している調査結果がある。</p> <p>学童期の子どもたちに自然体験や文化体験の機会がその後の非認知能力の向上等につながるとしつつも、各家庭で対応できるほど子育て世代には時間的、経済的余裕はみられない上に、放課後を過ごす学童の場所では、急激な児童の増加に対応する施設の確保、人員の確保そしてコロナ対応に追われる状況にある。区内の学童は民間北山伏児童館から「子どもたちに多様な遊びの提案をしてもらえないか」との相談を受け、春休みに西新宿児童館でおりがみを教えた会員からは「学童の先生はコロナ対応に追われ、子どもと時間を共有して楽しむことも難しい様子だった」と感想を受けた。他の学童現場でも児童が迎えに来た保護者に雲</p> |

梯が出来るようになったところを見せようとしたところ「もう遊具は使えない。けがしたら困るんだ。」と指導員から声がかけていた。本来、子どもが好きで指導員となった人も、管理することを求められて、子どもの気持ちに寄り添う余裕がなくなっている状況を目の当たりにした。

このような事から保護者の選択なしにすべての子どもたちに文化体験の機会を届けるには学校現場や学童クラブ等が有効である。

また、そこに関わる大人（先生や指導員）と一緒に体験することも重要ポイントとしてとらえている。このコロナ禍で教員や指導員も安全、安心が一番の課題となった。特にこのコロナ禍で新卒採用されている先生、指導員は教育実習の機会が短かったり、三密を避けるような指導現場での体験だったりと多くの人との交流を通して学ぶコミュニケーションや体験の機会を奪われた世代でもある。普段は指導する立場の先生（指導員）が、一緒に授業をうけることで、子どもへの声掛けのこぼれや言い方、タイミングなど、今後の指導に生かせるものがある。

このような子育て環境になっていることを広く区民に知ってもらい、地域社会で子どもの育ちを応援する土壌を作り上げて行きたい。

I. イベント（会議）名：（アーティスト派遣事業）

ア イベント（会議）の開催予定等

活動内容：小学校にアーティストを派遣する。学習のカリキュラムにも則し、より体験を深めるために、プロのアーティストによる体験授業を実施する。  
子ども文化地域コーディネーターは、学校のニーズと状況にあったアーティストを派遣する。アーティストによる体験がより効果的に学校へ波及できるように環境を調整し、参加する児童の気持ちにも寄り添い、評価でなく体験を楽しむための授業になるように関わる。

実施期間：R 5 年 11月 ～ R 5年 12月

実施回数：（ 2 ）回／月・~~年~~

実施場所：オンライン ・ 会場（学校の体育館等）

イ 対象者及び参加予定人数

対象者：小学生

参加予定人数： のべ（ 100 ）名

③ 活動内容

（イベントが複数ある場合は、こちらのページを複写して作成してください）

ウ 周知

<媒体>

ポスター  チラシ  HP  その他（ DM ）

<周知先>

区施設（特別出張所、地域センター等）  区直営掲示板

その他（ 各校へのDM 校長会での周知 ）

エ スタッフ等人数（のべ人数を記載）

団体構成員（ 2 ）名 講師等（ 6 ）名

アルバイト（ ）名 ボランティア（ 8 ）名

|   |  |
|---|--|
| II. イベント（会議）名：（あそびの出前事業）  |  |
| ア イベント（会議）の開催予定等  |  |
| 活動内容：学童クラブや放課後ひろば等にあそびのファシリテーターを派遣し、子どもたちのあそびの幅を広げる。プログラム例：げきあそび、まねっこあそび<br>集団遊び（わらべうたのおにごっこ、じゃんけんゲームなど）、お手玉・工作など。職員にも一緒に参加してもらい、子どもの日常にもあそびが継続し発展していくことを目指す。                                 |  |
| 実施期間：R 5 年 7 月 ～ R 6 年 2 月<br>実施回数：（ 5 ）回／月・年<br>実施場所：オンライン ・ 会場（学童・放課後ひろば）   |  |
| イ 対象者及び参加予定人数   |  |
| 対象者：<br>参加予定人数： のべ（ 150 ）名  |  |
| ウ 周知  |  |
| <媒体><br><input type="checkbox"/> ポスター <input checked="" type="checkbox"/> チラシ <input checked="" type="checkbox"/> HP <input checked="" type="checkbox"/> その他（DM）                              |  |
| <周知先><br><input type="checkbox"/> 区施設（特別出張所、地域センター等） <input type="checkbox"/> 区直営掲示板<br><input checked="" type="checkbox"/> その他（DM）   |  |
| エ スタッフ等人数（のべ人数を記載）  |  |
| 団体構成員（ 5 ）名    講師等（ 5 ）名<br>アルバイト（ 10 ）名    ボランティア（ 10 ）名   |  |
| III. イベント（会議）名：（講演会「今、子どもたちは」）  |  |
| ア イベント（会議）の開催予定等  |  |
| 活動内容：日常的に困難を抱える子どもや家庭の支援に取り組む団体とともに、コロナ後の子どもたちや保護者の実情を共有し学習することで、体験格差の現状を明らかにする。<br>① パネルディスカッション 子どもを支える複数の団体から、各視点で見えている子ども現状<br>② 講演会「コロナ禍を経て 子どもの現状」（仮題）<br>有識による講演会。講師候補：阿比留久美（早稲田大学准教授） |  |
| 実施期間：R 5 年 7 月 ～ R 5 年 9 月<br>実施回数：（ 2 ）回／月・年<br>実施場所：オンライン ・ 会場（地域センター）  |  |
| イ 対象者及び参加予定人数   |  |
| 対象者：大人<br>参加予定人数： のべ（ 約80 ）名  |  |

|   |                             |
|---|-----------------------------|
| <b>ウ 周知</b>   |                             |
| <p>&lt;媒体&gt;<br/><input checked="" type="checkbox"/> ポスター   <input checked="" type="checkbox"/> チラシ   <input checked="" type="checkbox"/> HP   <input type="checkbox"/> その他 (                    )</p> <p>&lt;周知先&gt;<br/><input checked="" type="checkbox"/> 区施設 (特別出張所、地域センター等)   <input checked="" type="checkbox"/> 区直営掲示板<br/><input checked="" type="checkbox"/> その他 (      DM                    )</p>  |                             |
| <b>エ スタッフ等人数 (のべ人数を記載)</b>  |                             |
| 団体構成員 ( 2 ) 名   | 講師等 ( 5 ) 名                 |
| アルバイト (   ) 名   | ボランティア ( 4 ) 名              |
| IV. イベント (会議) 名: (                    実行委員会                    )  |                             |
| <b>ア イベント (会議) の開催予定等</b>   |                             |
| 活動内容: 事業の企画運営を通して、事業全体の把握と目指すところを共有し実施していく。委員希望者を公募する。<br>文化体験里親寄付制度への準備を通して、より広い区民を巻き込み、地域で子どもを育てる意識を広めていく。また、ホームページでの寄付の呼びかけやクレジット決済、報告の掲載などできるように準備を進める。<br>年度末には成果と課題を明確にし、報告書を制作して今後につなげていく。   |                             |
| 実施期間: R      5年    6月   ~ R      6年    3月   |                             |
| 実施回数: ( 9      ) 回/月・ <u>年</u>  |                             |
| 実施場所: オンライン ・ 会場 (                    ハイブリットも検討                    )  |                             |
| <b>イ 対象者及び参加予定人数</b>  |                             |
| 対象者: 区民   |                             |
| 参加予定人数: のべ ( 90      ) 名  |                             |
| <b>ウ 周知</b>   |                             |
| <p>&lt;媒体&gt;<br/><input type="checkbox"/> ポスター   <input checked="" type="checkbox"/> チラシ   <input checked="" type="checkbox"/> HP   <input type="checkbox"/> その他 (      メール                    )</p> <p>&lt;周知先&gt;<br/><input checked="" type="checkbox"/> 区施設 (特別出張所、地域センター等)   <input type="checkbox"/> 区直営掲示板<br/><input checked="" type="checkbox"/> その他 (                    DM                    )</p> |                             |
| <b>エ スタッフ等人数 (のべ人数を記載)</b>  |                             |
| 団体構成員 ( 27 ) 名  | 講師等 (      ) 名              |
| アルバイト (      ) 名  | ボランティア (      ) 名           |
| <b>④ 安全対策等</b>  | <b>ア 事業実施にあたっての具体的な安全対策</b> |

(箇条書きで  
ご記入ください)

- ・事前の打ち合わせを密に行い、参加者の安全には複数で対応する。
- ・救急用品を持参し、実施時は複数のスタッフで安全確認をする。
- ・当法人が加入している年間を通した保険を適用する。
- ・学校や学童の現場で実施している安全対策を順守する。

イ 新型コロナウイルス感染症対策

- ・文部科学省や教育委員会のコロナ対応に遵守して、事業実施を行う。
- ・講師・スタッフは事前の体調管理を行う。
- ・参加者、受け入れ施設等と体調管理をすり合わせ、体調不良の場合は参加を控えてもらう

ア 区民や地域社会への成果・効果

- ・講演会を通して、多くの区民が、子どもの現状を共有することができこる。また、子どもにかかわる多様な団体のネットワークを通して、それぞれの取り組みや課題を理解し、協力の輪を広げることができる。
- ・スタッフ募集を区内の大学や専門学校や若者たちにも呼びかけることを通して、事業の理解と支援者を広げる。
- ・文化体験里親寄付制度への準備を通して、子どもを取り巻く現状を伝えながら、事業の支援者を増やし、地域の構成員としてできることを主体的にかかわることを提起する。

⑤ 期待される効果

イ 現状や課題に対する成果・効果

- ・家庭環境から生じる「子どもの体験の格差」においては、学校に文化体験の場を提供することで、幅広く多様な子どもたちに体験の機会を提供することができる。子どもたちは文化体験を通して、新たな自分や友達との出会いや、表現やコミュニケーションの幅を広げることができる。
- ・学童や放課後ひろば等にあそびの出前を届けることで、継続された人間関係の中で体験を深めることができる。また、職員もかかわることで、子どもたちと一緒に、あそびを高めることを目指せる。
- ・ネットワークを通して、コロナ禍がもたらした現状を踏まえ、継続して課題に取り組む体制を作ることができる。

⑥ 先駆性・専門性

- ・当法人が会員の子ども劇場東京都協議会が受託している文化庁「文化芸術による子供育成推進事業」のNPO法人提案型事業を2011年より新宿区内の小中学校へ実施している実績（2011年～2022年区内小中学校117校138回実施）から、多くの現場と多種のアーティストとのつながりがあり、コーディネート専門性は高い。

2022年度の文化芸術による子供育成推進事業担当実績

|   | 学校名   | 実施日 | ジャンル | 講師名  | 授業 | 学年参加人数  |
|---|-------|-----|------|------|----|---------|
| 1 | 戸山小学校 | 7/7 | ダンス  | 西垣陽子 | 総合 | 6年生 32名 |

|    |         |         |        |               |    |         |
|----|---------|---------|--------|---------------|----|---------|
| 2  | 富久小学校   | 9/1     | 身体表現   | ストウミキコ        | 図工 | 3年生 52名 |
| 3  | 南池袋小学校  | 9/16    | 現代舞踊   | 三森 渚<br>磯村由紀子 | 音楽 | 1年生 90名 |
| 4  | 江戸川小学校  | 10/5    | 太鼓     | 金刺悠太          | 音楽 | 3年生 45名 |
| 5  | 西戸山小学校  | 10/18   | ミュージカル | 藤森裕美          | 総合 | 5年生 66名 |
| 6  | 大森小学校   | 10/31   | 声楽     | ハル            | 音楽 | 5年生 80名 |
| 7  | 四谷第六小学校 | 11/8    | 太鼓     | 金刺悠太          | 音楽 | 5年生 65名 |
| 8  | 余丁町小学校  | 11/10   | 声楽     | ハル            | 音楽 | 6年生 53名 |
| 9  | 落合第四小学校 | 11/11   | 身体表現   | 楠原竜也          | 総合 | 2年生 75名 |
| 10 | 落合第二小学校 | 12/6    | 能楽     | 茂山 茂          | 国語 | 6年生 59名 |
| 11 | 四谷小学校   | 12/12   | 身体表現   | ストウミキコ        | 図工 | 6年生 60名 |
| 12 | 西新宿小学校  | 12/13   | 太鼓     | 露木一博          | 総合 | 5年生 48名 |
| 13 | 柏木小学校   | 12/21   | 太鼓     | 露木一博          | 総合 | 6年生 68名 |
| 14 | 落合第一小学校 | 2/9     | 身体表現   | 楠原竜也          | 体育 | 2年生 88名 |
| 15 | 西新宿中学校  | 2/15.16 | 現代舞踊   | 西垣陽子          | 体育 | 1年生 56名 |
| 16 | 戸山小学校   | 2/17    | 身体表現   | 楠原竜也          | 体育 | 2年生 58名 |

・子ども夢基金を活用し、児童館にあそびの出前事業（2019年）を実施した実績があり、さらに専門家との連携を図りスキルアップしたプログラムを提供できる。

| 2019年  |                          | 子ども | 大人 |
|--------|--------------------------|-----|----|
| 7月17日  | 四谷第六小学校校内学童・ひろば          | 51  | 6  |
| 9月18日  | 戸山小学校校内学童・ひろば1回目         | 51  | 6  |
| 10月16日 | 同上 2回目                   | 52  | 7  |
| 12月4日  | 西新宿児童館学童 1回目             | 50  | 8  |
| 1月14日  | 戸山第二保育園                  | 36  | 8  |
| 2月19日  | 富久児童館                    | 18  | 6  |
| 3月4日   | 西新宿児童館学童2回目感染症拡大による自粛で中止 |     |    |

・民生児童委員、スクールコーディネーター、区内地域協働学校委員、プレイパーク、学童クラブ連絡協議会委員、子ども食堂など区内で多様な活動をしている団体構成員を有し、子どもや学校の実情に合ったコーディネーターとネットワークの構築が可能。

⑦ 今後の展望

・より多くの子どもたちに文化体験の場を届けることができるよう、文化体験里親寄付制度の確立を目指す。  
 ・子どもを取り巻く現状については、継続したネットワークを構築し、子どもを支える環境を作る。  
 ・子育て世代が安心して子育てができる環境を目指す。



実施要領 第1号様式

|  |   |
|--|---|
| <p>⑧ 過去にこの助成を受けた実績</p>                   | <p>助成年度（2011年）事業名（「ダルレのはなし」楽しみたい・学びたい・触れたい韓国 ）</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>助成年度（2013年）事業名（文化で地域づくり アートの花を（新宿フィールドミュージアム 2013））</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>助成年度（2014年）事業名（文化で地域づくり アートの花を（新宿フィールドミュージアム 2014））</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>助成年度（2015年）事業名（文化で地域づくり アートの花を（新宿フィールドミュージアム 2015））</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>助成年度（2018年）事業名（日本の芸能でノーマライゼーション）</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>助成年度（2019年）事業名（障害者ととともに輝く文化体験 ～インクルーシブ・共生社会を目指して～）</p> |
| <p>⑨ この事業に対する他の助成の有無<br/>（申請中のものを含む）</p> | <p style="text-align: center;"> <input type="checkbox"/> 有            <input checked="" type="checkbox"/> 無         </p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>有の場合は、助成名称（団体）及び助成額<br/>         助成名（団体名）：<br/>         助成額：                                円</p> <p>※新宿区の他の助成制度からの助成が決定した場合には、本助成金は受けられません。新宿区以外の団体からの助成金がある場合には、その金額を差し引いた額が本助成額になります。本助成金への申請後に、同事業で新宿区外の補助金へ申請される際は、必ずご相談ください。</p>  |

収支予算書

|                      |             | 費 目                   | 予 算 額     | 内 訳  |
|----------------------|-------------|-----------------------|-----------|--|
| 支<br>出<br>区<br>分     | 事<br>業<br>費 | ①使用料及び賃借料             | 37,500 円  | 講演会会場費 戸塚地域センター6600円×2回=13,200円<br>実行委員会 戸塚地域センター会議室2700円×9回=24,300円   |
|                      |             | ②消耗品及び印刷費             | 60,000 円  | チラシ4種 2円×15000=30000円<br>報告書印刷20000円<br>封筒・コピー用紙・プリンターインク10000円  |
|                      |             | ③委託費                  | 30,000 円  | チラシデザイン 5000円×4種=20,000円<br>報告書デザイン 10000円   |
|                      |             | ④講師謝礼                 | 291,300 円 | アーティスト派遣 35650円×2校=71300円<br>あそびの出前講師 30000円×5回=150000円<br>講演会50000円+(5000円×4名)=70000円   |
|                      |             | ⑤その他謝礼                | 252,400 円 | アーティスト派遣補助講師13040円×5名×2校+スタッフ3000円<br>×4名×2校=154,400円<br>あそびの出前スタッフ5000円×2名×5回+3000円×2名×5回=<br>80,000円<br>講演会スタッフ3000円×3名×2回=18,000円 |
|                      |             | ⑥交通費                  | 円         |  |
|                      |             | ⑦保険料                  | 円         |  |
|                      |             | ⑧その他諸経費               | 60,800 円  | メール便 180円×150通=27000円<br>DM 94円×200通=18800 運搬・配送5000円×3=15000  |
|                      |             | ⑨新型コロナウイルス感染<br>症対策経費 | 円         | ※上限額2万円以内 (20,000)   |
|                      |             | ⑩人件費                  | 129,600 円 | ※下記「事業費」の25%以内 (244,000)<br>団体構成員 1200円×3時間×18回×2名=129600円   |
| 事業費(①から⑩の合計)         |             |                       | 861,600 円 |  |
| ⑪ファンドレイジングに関<br>する経費 |             | 30,000 円              |           | ※事業費の5%以内 (43,080)<br>DM 180円×120通<br>資料制作 8400円   |
| ⑫助成対象経費<br>(事業費+⑪)   |             |                       | 891,600 円 |  |
| ⑬助成対象外経費             |             |                       | 円         |  |
| 事業総額                 |             |                       | 891,600 円 |  |

|                  |                      | 内 容 | 予 算 額     | 積算根拠(内訳)                          |
|------------------|----------------------|-----|-----------|-----------------------------------|
| 収<br>入<br>区<br>分 | ⑦ 事業収入<br>(参加料、資料代等) |     | 30,000 円  | 講演会 500円×30名×2回                   |
|                  | ④ 寄附金                |     | 90,000 円  | 3000円×30                          |
|                  | ⑤ 補助金等収入             |     | 円         |                                   |
|                  | ⑥ 協働推進基金助成金          |     | 500,000 円 | 「①～③、⑩～⑫の合計」の2/3と「④」の合計 ※千円未満切り捨て |
|                  | ⑧ 団体負担金              |     | 271,600 円 |                                   |
| 収入総額             |                      |     | 891,600 円 |                                   |